



広島市立美鈴が丘高等学校書道部  
「鯉の滝登り～広島復興～」

昨年に引き続き、広島市立美鈴が丘高等学校書道部の皆さんが制作された大書作品を展示させていただきました。

作品は「広島復興はカープとともにある」との思いから制作されました。

原爆投下で焼け野原となった広島で、「市民による市民のための球団」としてカープ球団は、原爆投下からわずか4年後に創立されました。

存続には多くの苦難があり、樽募金、1975年の初優勝、そして昨年、25年ぶりにリーグ優勝を果たしました。

広島に住む高校生として、日ごろから親しんでいる書作品で平和への想いを披露したいとの気持ちを込めたそうです。

ぜひ、ご覧ください。

広島市立基町高等学校普通科創造表現コース  
「～次世代と描く原爆の絵2015～」

広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの生徒の皆さんが、被爆体験証言者と共同で制作に取り組まれた「原爆の絵」11点をお借りし、展示させていただきました。

制作にあたり生徒の皆さんは、証言者の被爆体験を聴き、想像を絶する光景をどう描くのか悩みながら、資料を集め、証言者と何度も打ち合わせを行い、この「原爆の絵」を描かれました。それぞれの絵には、被爆体験証言者と生徒の皆さんの「伝えたい、伝えなければならない」という熱い想いが表現されています。

ぜひご覧いただき、その想いを受けとっていただければと思います。



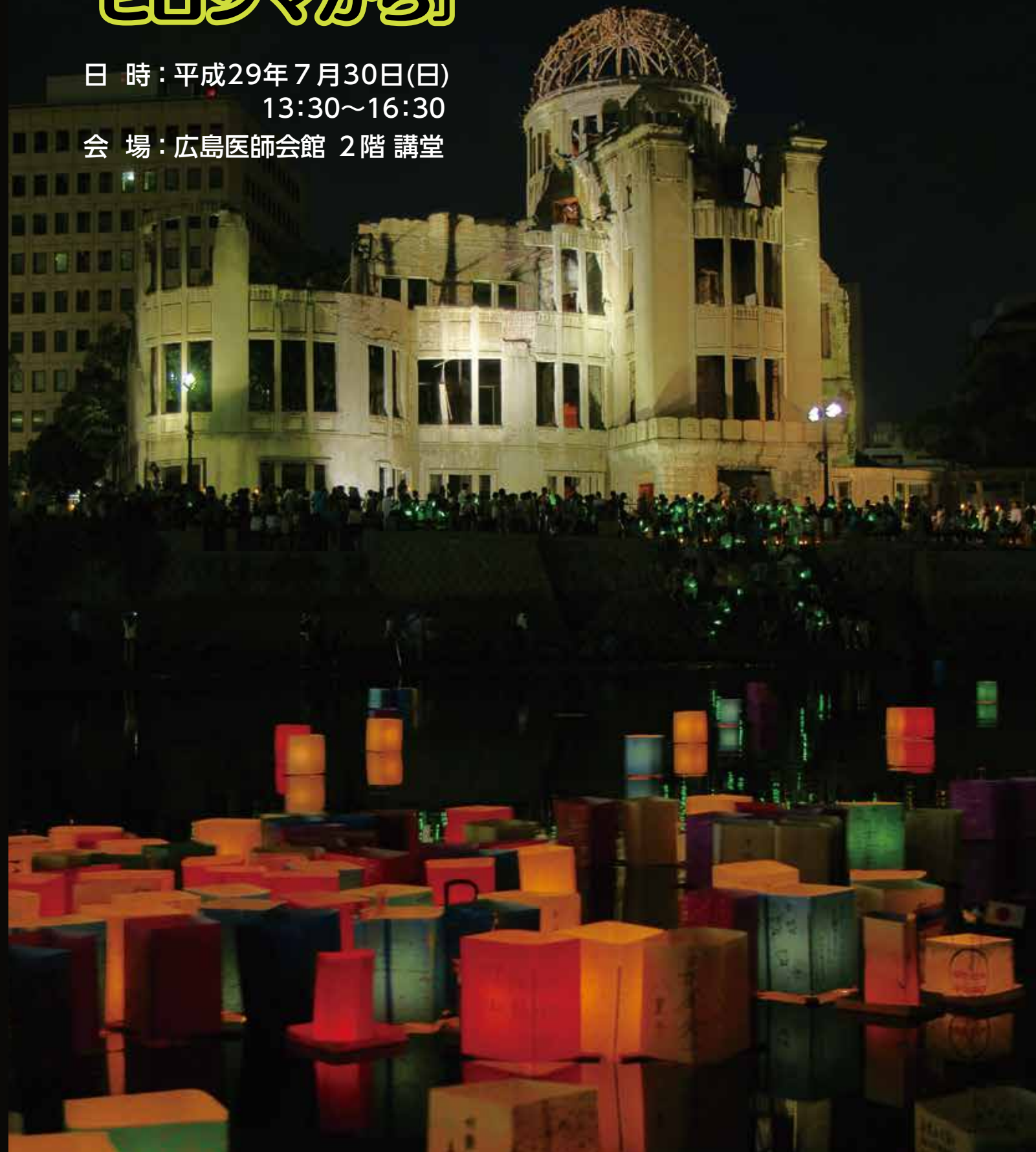
広島平和記念資料館所蔵

## 広島市医師会 市民公開講演会

# 『世界の若人へ語り継ごう ヒロシマから』

日 時：平成29年7月30日(日)  
13:30～16:30

会 場：広島医師会館 2階 講堂



## ご挨拶



広島市医師会は、一昨年の被爆70周年を機に、あの日ヒロシマで何が起ったのか、そして被爆者の心身にどんな影響があったのかを次の世代に語り継ぎ共に学び、核兵器のない戦争のない平和な世界を築くために、市民公開講演会を開催しました。今年も「世界の若人へ語り継ごうヒロシマから」としてこの事業を継続しました。放射線の人体への影響について学び、被爆医師の体験を聴いていただき、核兵器、戦争、平和について一緒に考えていきたいと思います。

昨年5月27日には、米国のオバマ大統領がヒロシマを訪問し、被爆者と会い、核兵器なき世界のメッセージを世界に発信しました。「核兵器廃絶」の実現に向け大きな一歩となりました。そしてついに、今年7月7日にはヒバクシャの悲願であった核兵器禁止条約が国連で採択されました。

私たちヒロシマの医師は、原爆投下後被爆者の救護活動に専念した医療従事者の体験を原点として、被爆体験の継承と被爆医療の推進、そして核兵器のない平和な世界を希求することを使命と考え、今後もこの事業を継続していきます。本日はご出席いただきありがとうございます。

一般社団法人 広島市医師会 会長 松村 誠

## プログラム

### オープニング 高校生によるオープニング ー合唱演奏ー 13:35～

広島女学院高等学校音楽部・広島学院高等学校有志 指揮：長谷川 史 ピアノ：堂下 千聖

- |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. 女声合唱とピアノのための「初心のうた」より<br/>Ⅰ. 初心のうた<br/>Ⅲ. とむらいのあとは<br/>Ⅳ. 泉のうた<br/>作詩 木島 始 作曲 信長 貴富</p> <p>2. A flower remembered<br/>永遠の花<br/>作詩・作曲 J.ラター 訳詩 ヘルビック 貴子</p> | <p>3. AL SHLOSHA D'VARIM ～真理・正義・平和～<br/>作詩・作曲 A.E.ナプラン<br/>ピアノ 草田 一駿</p> <p>4. VOICE<br/>作詩・作曲 山添 裕作<br/>ピアノ 松井 詠朗</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



広島女学院高等学校 音楽部

音楽部は、合唱コンクールや校内文化祭、県の音楽祭、広島女学院の行事として12月に行われる オラトリオ「メサイア」の演奏会に出演し、年に1回の音楽部の演奏会に向けて活動を行っています。キリスト教主義の本校では、礼拝形式で行われる入学や卒業のセレモニーの中での合唱も大切な役割となっています。日々の練習では、合唱をする楽しみを感じ、お互いの声に耳を傾け、皆の心がひとつになる事をめざしています。また宗教音楽の演奏を通して神を賛美し、永遠なものに目をむける姿勢を持ち続けたいと願っています。



広島学院高等学校 有志

「原爆で壊滅した広島を教育の力で励ましたい」と1956年、西区古江の丘に広島学院はイエズス会によって設立されました。以来、カトリックの人間観・世界観に基づき、他者への奉仕の精神をもった社会や人類のために貢献できる人間を育てることを使命としています。原爆投下時、広島にいたアルベ神父は医者でもあったため、多く人々の治療にあたったそうです。その神父の言葉、「Men for Others」は世界のイエズス会学校の校是にもなっています。今回、合唱に参加するのは、アルベ神父の言葉を心に留め平和活動に取り組んでくれている生徒達です。合唱部ではありませんのでお聞き苦しいこともあろうとは思いますが、よろしくお願いいたします。



## 開会挨拶 一般社団法人 広島市医師会 会長 松村 誠

14:00～



## 基調講演 「原爆放射線による長期的な健康影響」 14:05～



講師 (公財)放射線影響研究所疫学部 主任研究員

定金 敦子 先生

1999年に自治医科大学を卒業後、福岡県内で臨床医として地域医療に従事。離島診療所での勤務も経験した。その後、大学での予防医学の教育・研究活動を行う。2012年より放射線影響研究所の研究員として原爆放射線の健康影響の調査研究にかかわっている。広島、長崎への修学旅行や学生時代の平和学習を通して原爆についての知識は身に付けていたつもりだったが、広島に住んでみて初めて分かることも多いことを実感している。



## 語り継ぐ会 ー被爆医師の被爆体験講話ー 14:40～



講師 医療法人あろえ会 岡本クリニック

岡本 文治 先生

1925年(大正14年)9月12日安佐郡安佐村毛木(現在の広島市安佐北区安佐町毛木)で開業医の8人兄弟の末っ子として生まれる。昭和17年県立徳島医学専門学校入学、昭和21年岡山医科大学附属医学専門部に転校、昭和24年卒業。その後広島医科大学第二外科入局。広島大学医学部講師。音戸町国保病院院長を経て、昭和36年7月広島市己斐西本町(現在の広島市西区己斐本町)に岡本外科医院開業。現職 医療法人あろえ会岡本クリニック名誉院長。昭和20年8月6日朝、寝過ごして広島行きの一発列車に乗り遅れ一命を取り留める。その後、黒い雨を浴び、同日より1ヶ月間実家の診療所で被爆者の救護を行った。



講師 医療法人 隅田耳鼻咽喉科医院

隅田 正二 先生

大正15年(1926年)7月14日広島市研屋町(現 紙屋町)で生まれ、袋町小、広島一中を経て、昭和19年4月旧制広島高等学校入学、同時に全寮制の薫風寮に入寮。

昭和20年4月から学徒動員で呉海軍工廠の工具宿舎に入舎、昼夜2交代で砲弾の粗削りに従事し8月6日を迎えた。翌8月7日朝、実家の広島へ帰るため入市、間接被曝。昭和27年岡山大学医学部卒業、耳鼻咽喉科学教室入局、川崎病院川崎癌研究所、東洋工業附属病院勤務を経て、昭和38年己斐町に耳鼻咽喉科医院を開設。広島市及び広島県耳鼻咽喉科医会会長、日耳鼻学会・医会協議会常任委員を歴任。

### 受賞歴

昭和35年(1960年)岡山大学医学部 結城賞

平成9年(1997年)広島県知事表彰



## 被爆医師と高校生の座談会 15:25～

講師 岡本 文治 先生 隅田 正二 先生

閉 会 16:00